



2026年8月10日の電力需給

全国

△ 全国合計需要ピーク

12,350万kW

13時30分、123,496 MW
(10エリア同時刻合計)

☀ 太陽光ピーク

4,702万kW

11時30分、47,016 MW
(自家消費分除く)

≈ 風力ピーク

132万kW

23時30分、1,320 MW

◇ 再エネ最大需要比

48.1%

12時30分、需要に対する割合

↔ 最大受電エリア

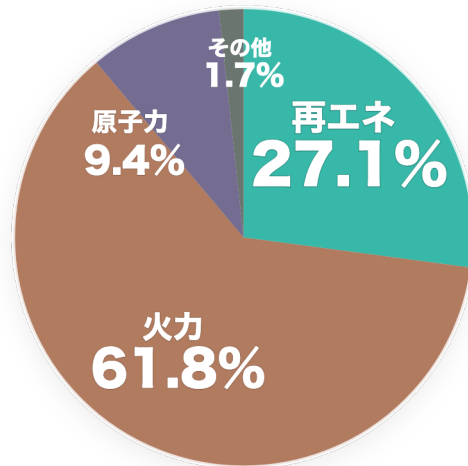
東京

131 GWh

↔ 最大送電エリア

東北

115 GWh



概況

再エネ比率トップ

北海道 46.2%

37.2 GWh

出力抑制量

0.0 GWh

最大: 北海道 0.0 GWh

揚水・蓄電の充電

36.7 GWh

発電構成比には含めない

日中の特徴

太陽光と夕方需要の時間差

多くのエリアで18-19時台に需要ピーク



- 需要ピークが最も大きかったのは東京で、11:30に4,116万kWでした。
- 再エネ比率は北海道が最も高く、発電電力量ベースで46.2%でした。
- 出力抑制は確認されませんでした。

項目	値	補足
再エネ発電 量比率	27.1%	発電電力量ベース
再エネ発電 量	657 GWh	太陽光・水力・風力・バイオマス・地熱
総発電電力 量	2,424 GWh	発電構成比の分母
再エネ最大 需要比	48.1%	12時30分
出力抑制量	0.0 GWh	最大: 北海道
揚水・蓄電 の充電	36.7 GWh	発電構成比には含めない

エリア	再エネ比率	再エネ発電量 (GWh)	出力抑制 (GWh)	連系線・ その他 (GWh)
北海道	46.2%	37.2	0.0	送電 5.2
東北	33.9%	108	0.0	送電 115
東京	22.6%	153	0.0	受電 131
中部	35.4%	100	0.0	受電 59.7
北陸	36.3%	27.3	0.0	送電 5.5
関西	18.5%	67.9	0.0	受電 56.0
中国	26.8%	49.4	0.0	送電 19.9
四国	21.5%	24.6	0.0	送電 40.9
九州	29.1%	86.4	0.0	送電 39.2
沖縄	10.3%	3.1	0.0	—



2026年8月10日の供給実績

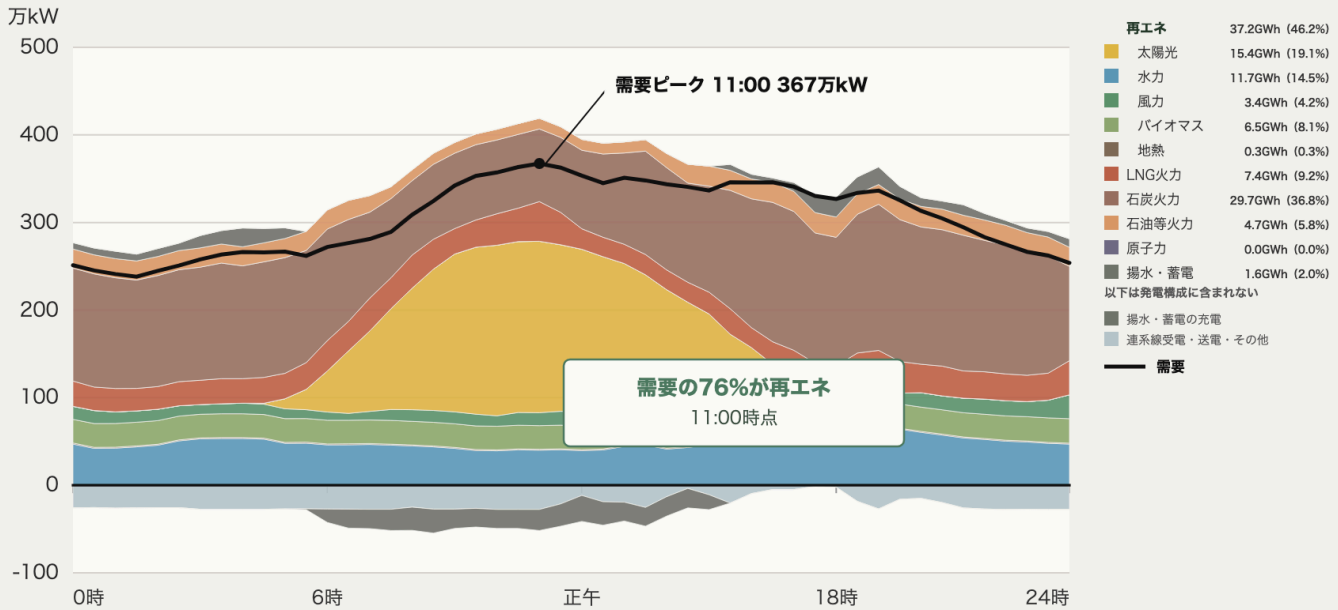
北海道エリア

再エネ

37.2GWh

(発電電力量ベース46.2%)

北海道エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北海道電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

80.7GWh

需要ピーク

11:00、367万kW

連系線・その他

5.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

2.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北海道は、太陽光ピーク196万kW、風力ピーク27万kWで、時間別の再エネ最大需要比は77.2%だった。



2026年8月10日の供給実績

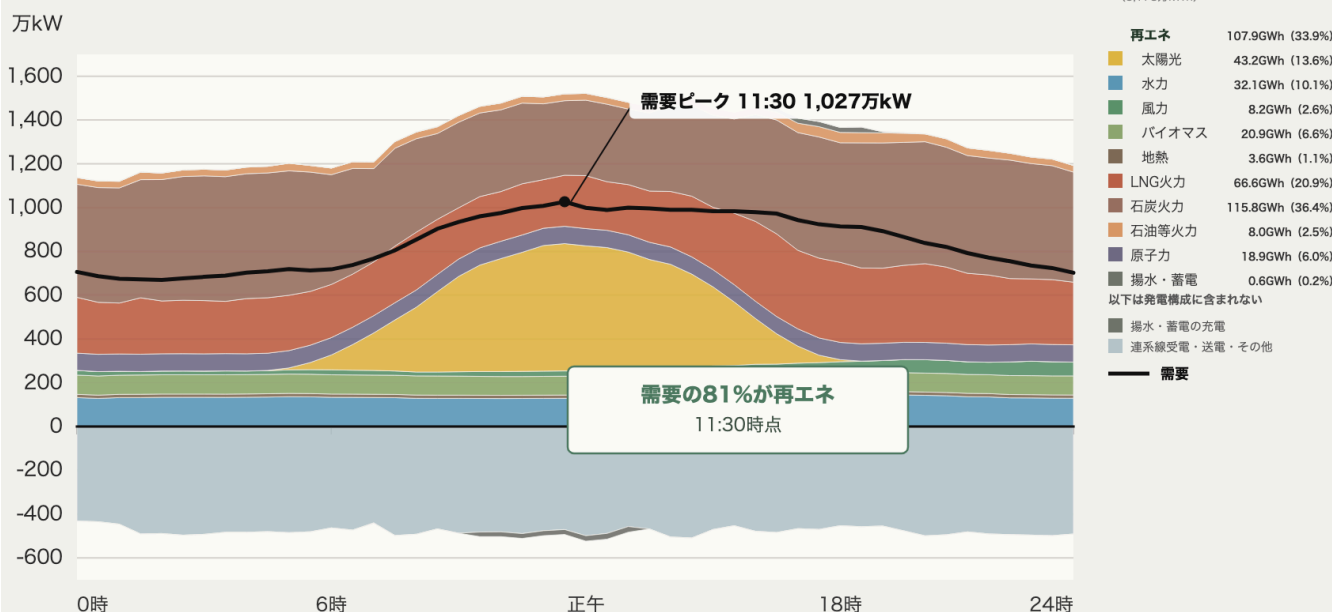
東北エリア

再エネ

107.9GWh

(発電電力量ベース33.9%)

東北エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 東北電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

317.9GWh

需要ピーク

11:30、1,027kW

連系線・その他

114.7GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.9GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東北は、太陽光ピーク582万kW、風力ピーク66万kWで、時間別の再エネ最大需要比は82.7%だった。



2026年8月10日の供給実績

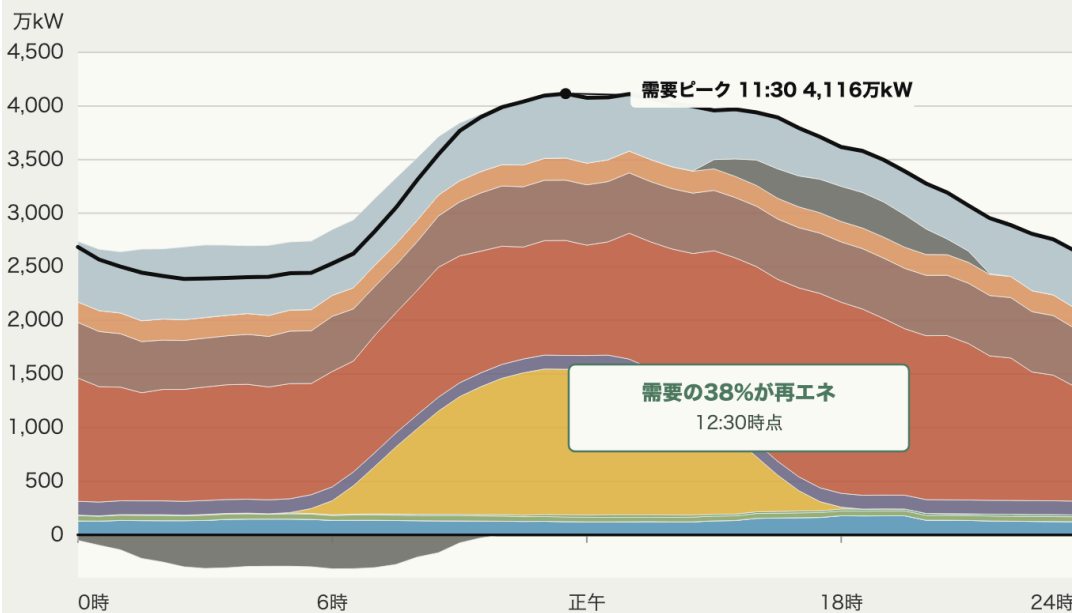
東京エリア

再エネ

152.6GWh

(発電電力量ベース22.6%)

東京エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 675GWh
(6,748万kW)

再エネ	152.6GWh (22.6%)
太陽光	105.2GWh (15.6%)
水力	33.1GWh (4.9%)
風力	3.1GWh (0.5%)
バイオマス	11.2GWh (1.7%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	301.4GWh (44.7%)
石炭火力	126.8GWh (18.8%)
石油等火力	47.2GWh (7.0%)
原子力	31.0GWh (4.6%)
揚水・蓄電	15.8GWh (2.3%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 東京電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

674.8GWh

需要ピーク

11:30、4,116万kW

連系線・その他

130.9GWhの受電

揚水・蓄電の充電

22.7GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

東京は、太陽光ピーク1,362万kW、風力ピーク20万kWで、時間別の再エネ最大需要比は37.9%だった。



2026年8月10日の供給実績

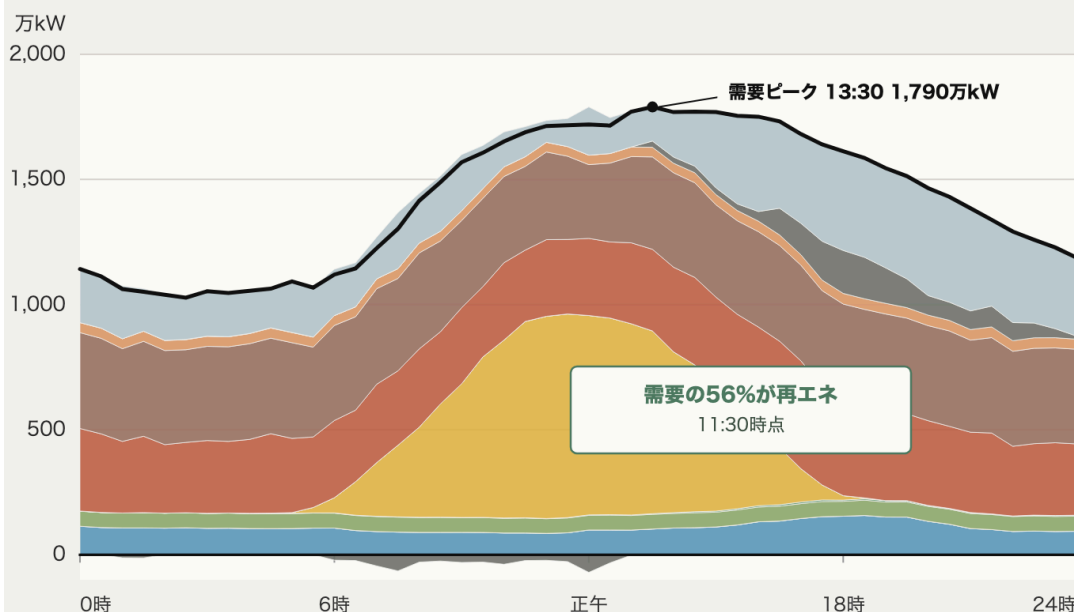
中部エリア

再エネ

100.5GWh

(発電電力量ベース35.4%)

中部エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



発電構成比

総発電電力量: 284GWh
(2,836万kW)

再エネ	100.5GWh (35.4%)
太陽光	59.4GWh (20.9%)
水力	26.2GWh (9.2%)
風力	0.6GWh (0.2%)
バイオマス	14.3GWh (5.0%)
地熱	0.0GWh (0.0%)
LNG火力	76.6GWh (27.0%)
石炭火力	88.7GWh (31.3%)
石油等火力	9.7GWh (3.4%)
原子力	0.0GWh (0.0%)
揚水・蓄電	8.2GWh (2.9%)
以下は発電構成に含まれない	
揚水・蓄電の充電	
連系線受電・送電・その他	

出典: 中部電力パワーグリッド公表のエリア需給実績データ (2026年8月CSV)

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

283.6GWh

需要ピーク

13:30、1,790万kW

連系線・その他

59.7GWhの受電

揚水・蓄電の充電

2.5GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中部は、太陽光ピーク814万kW、風力ピーク6万kWで、時間別の再エネ最大需要比は56.1%だった。



2026年8月10日の供給実績

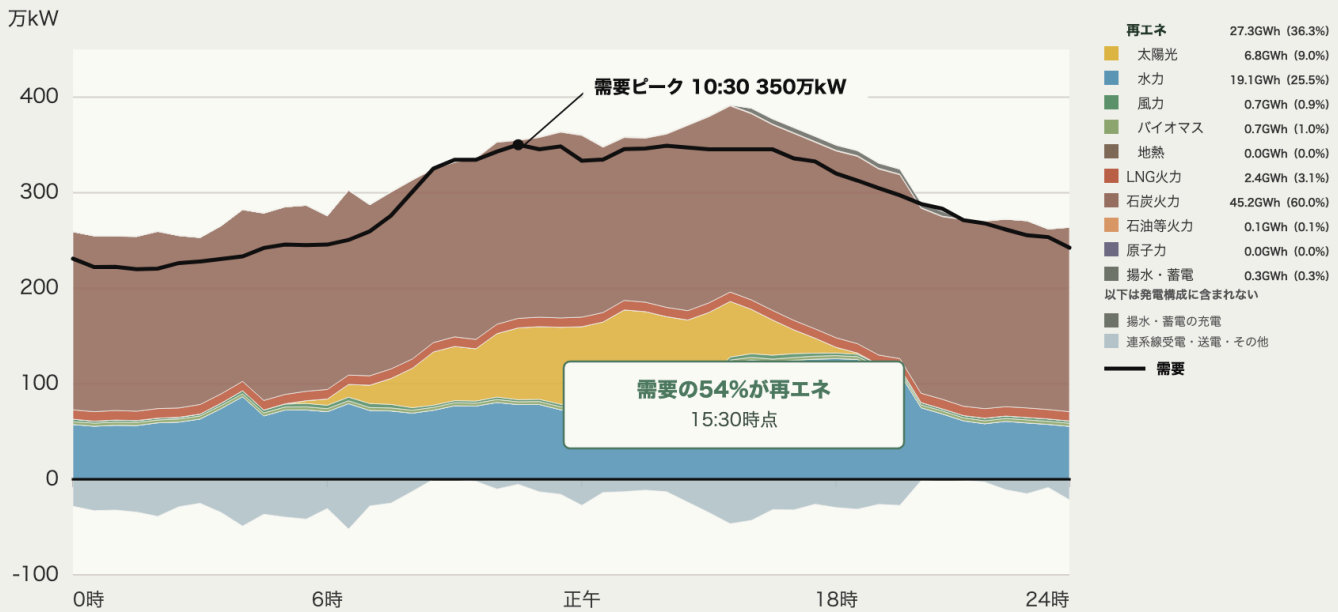
北陸エリア

再エネ

27.3GWh

(発電電力量ベース36.3%)

北陸エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 北陸電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

75.2GWh

需要ピーク

10:30、350万kW

連系線・その他

5.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

北陸は、太陽光ピーク93万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は53.9%だった。



2026年8月10日の供給実績

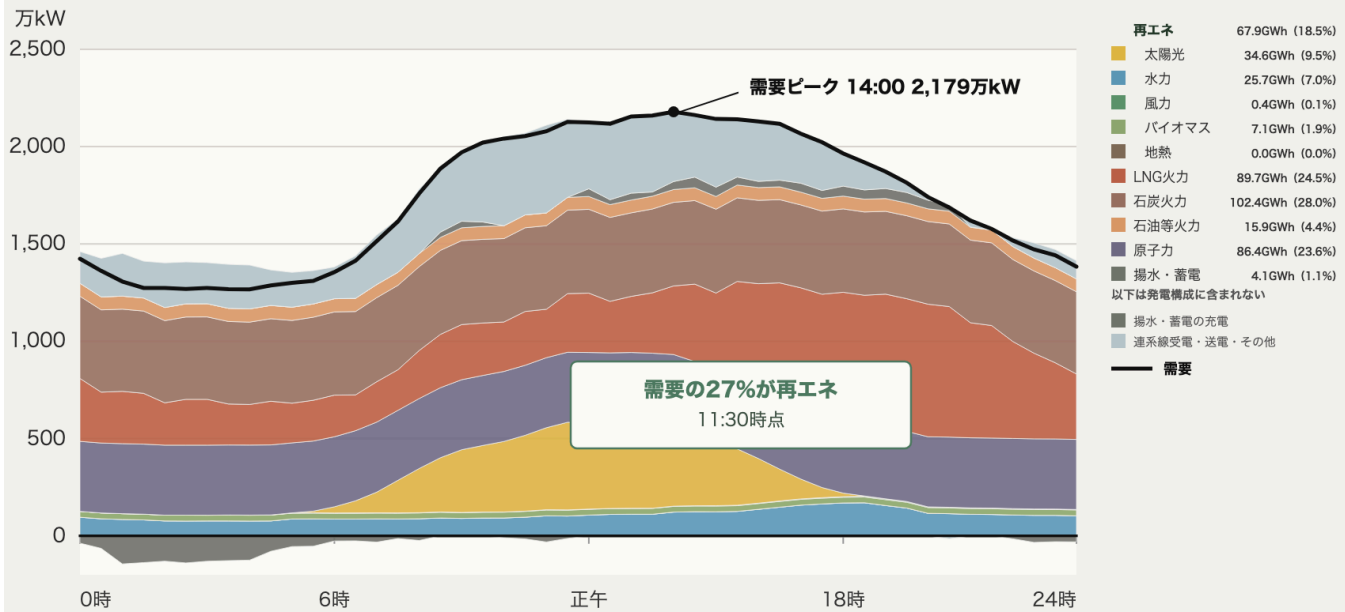
関西エリア

再エネ

67.9GWh

(発電電力量ベース18.5%)

関西エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 関西電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

366.5GWh

需要ピーク

14:00、2,179万kW

連系線・その他

56.1GWhの受電

揚水・蓄電の充電

7.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

関西は、太陽光ピーク450万kW、風力ピーク4万kWで、時間別の再エネ最大需要比は27.5%だった。



2026年8月10日の供給実績

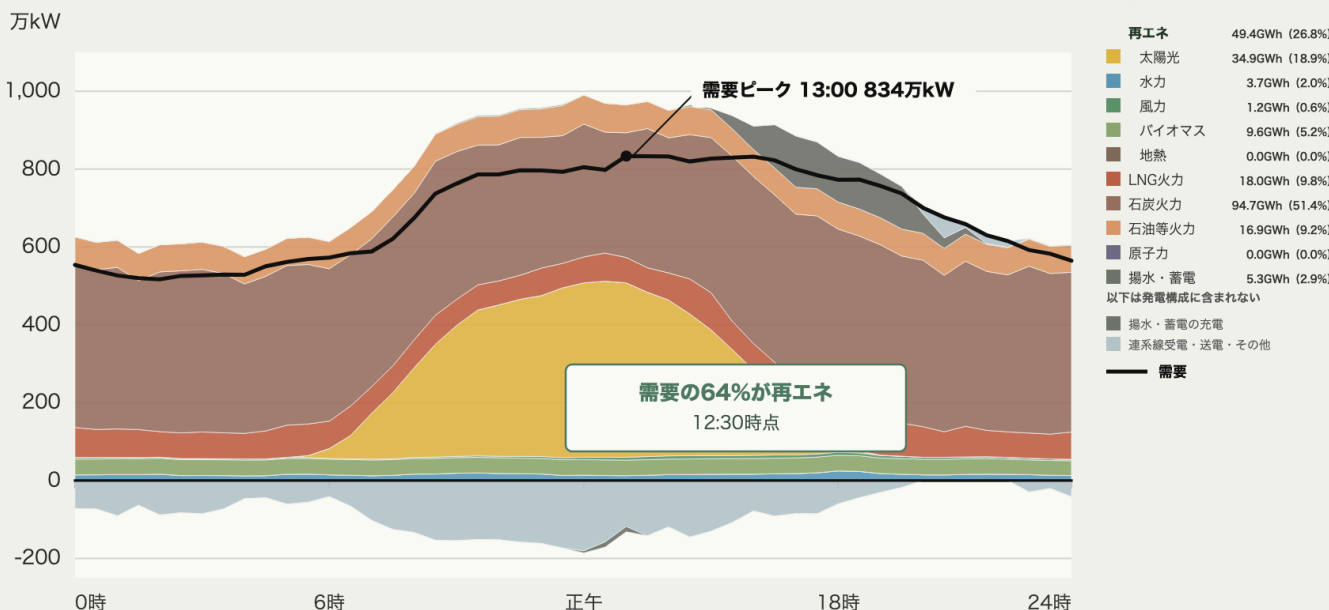
中国エリア

再エネ

49.4GWh

(発電電力量ベース26.8%)

中国エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 中国電力ネットワーク公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

184.2GWh

需要ピーク

13:00、834万kW

連系線・その他

20.5GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.2GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

中国は、太陽光ピーク452万kW、風力ピーク8万kWで、時間別の再エネ最大需要比は64.2%だった。



2026年8月10日の供給実績

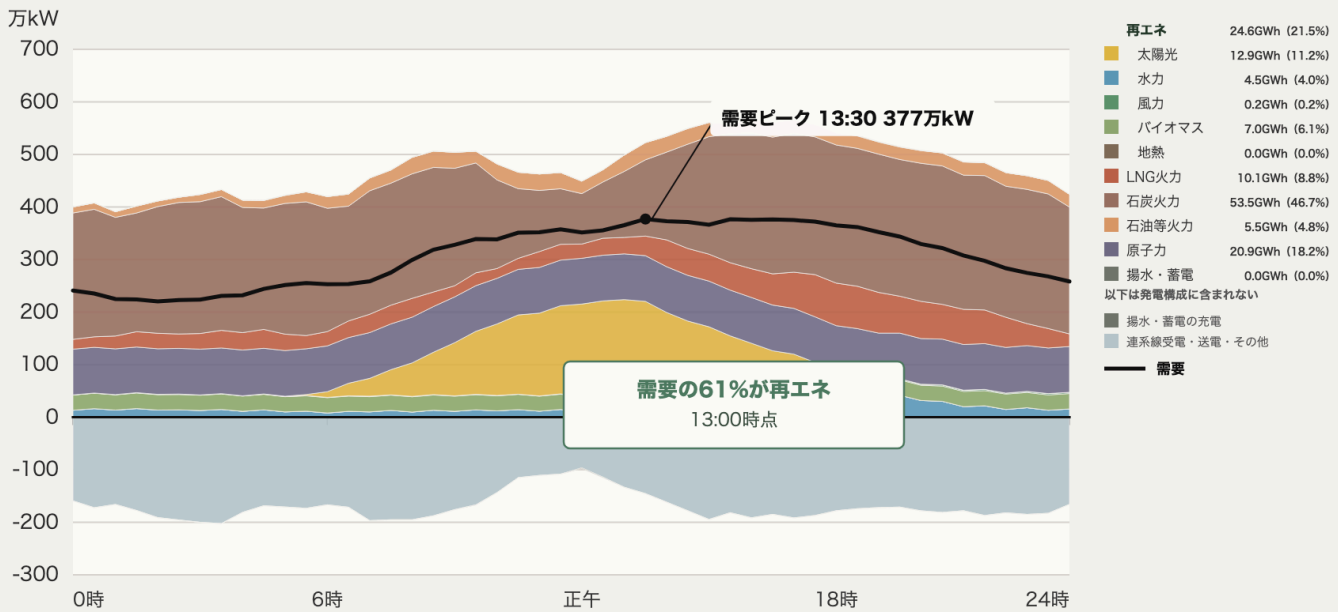
四国エリア

再エネ

24.6GWh

(発電電力量ベース21.5%)

四国エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 四国電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

114.6GWh

需要ピーク

13:30、377万kW

連系線・その他

40.9GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

四国は、太陽光ピーク184万kW、風力ピーク3万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.3%だった。



2026年8月10日の供給実績

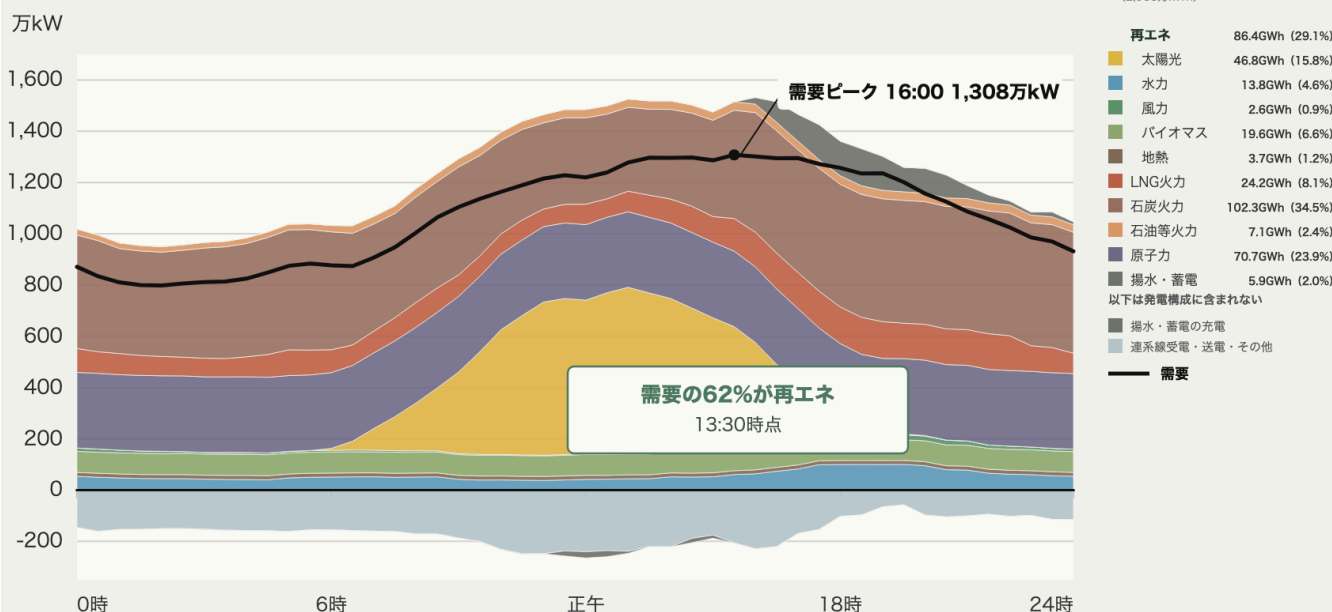
九州エリア

再エネ

86.4GWh

(発電電力量ベース29.1%)

九州エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 九州電力送配電公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

296.6GWh

需要ピーク

16:00、1,308万kW

連系線・その他

39.2GWhの送電

揚水・蓄電の充電

0.6GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

九州は、太陽光ピーク644万kW、風力ピーク26万kWで、時間別の再エネ最大需要比は62.1%だった。



2026年8月10日の供給実績

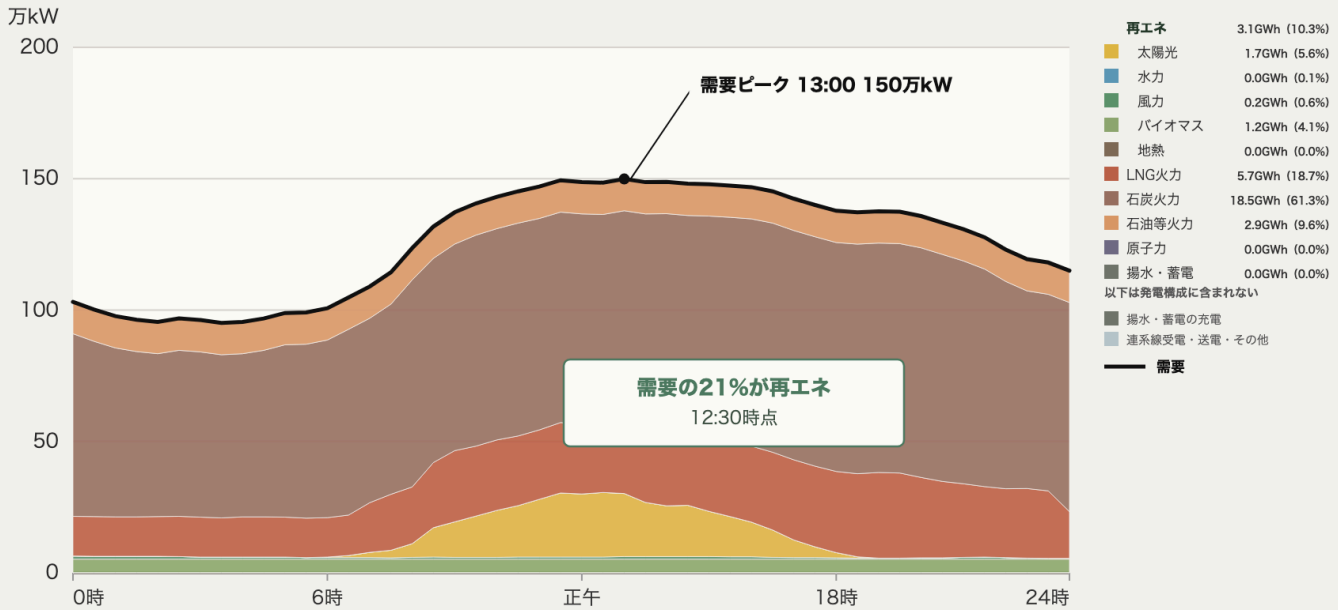
沖縄エリア

再エネ

3.1GWh

(発電電力量ベース10.3%)

沖縄エリア 2026年8月10日の供給実績（残余需要方式）



出典: 沖縄電力公表のエリア需給実績データ（2026年8月CSV）

各値は原則として送電端値であり、所内電力量・自家消費分を差し引いたもの。発電構成比は需要・連系線・出力抑制量を含まない。残余需要=エリア需要-水力-地熱-バイオマス-太陽光-風力。

総発電電力量

30.2GWh

需要ピーク

13:00、150万kW

連系線・その他

0.0GWh

揚水・蓄電の充電

0.0GWh

出力抑制

0.0GWh

概況

沖縄は、太陽光ピーク25万kW、風力ピーク1万kWで、時間別の再エネ最大需要比は20.6%だった。